

埼玉大学広報誌

# Saidai Concierge

サイダイ  
コンシェルジュ

July 2016

vol. **23**

<http://www.saitama-u.ac.jp/>

巻頭  
企画

## 入学から卒業まで 一貫して応援します!

キャリア教育サポート体制の強化 統合キャリアセンターSUを新設!

.....01

**1年生に訊く**  
なぜ、埼大? だから、埼大! .....03

**ラボ探訪** -Welcome to my laboratory-  
教育学部  
高橋 哲 准教授 .....05  
大学院理工学研究科  
金子 裕良 教授 .....06

**特色のある授業** .....07  
教養学部  
[International Development Policy and Management]  
加藤 基 客員教授

**埼大流 国際交流推進活動** .....08  
さいたまスポーツフェスティバル2016 &  
埼大ワールドカップ

**Close up**  
埼玉大学の生の声を聞いてみよう .....09  
食堂・売店の紹介 .....10

**日本で、世界で**  
**活躍する埼大生!** .....11

**サークル紹介** -PASSION- .....12  
有機農業研究会

**卒業生紹介** .....13  
活躍する卒業生からのメッセージ  
テラフォーマーズ原作者 貴家 悠さん

**Special Feature** .....14  
梶田隆章先生(1981年 理学部卒)  
ノーベル物理学賞受賞記念講演会&植樹式





巻頭特集

# 齊藤副学長に訊く 入学から卒業まで 一貫して応援します！

## キャリア教育サポート体制の強化 2016年春、統合キャリアセンターSUを新設！

理事(教学・学生担当)  
副学長 齊藤 享治



埼玉大学は、これまで進めてきた研究と人材育成の基盤強化だけでなく、大学の個性化に繋がる機能強化を進めます。その一環として、2016年度より学生のキャリア教育サポート体制を強化していく埼玉大学の取組を、教学・学生担当理事、齊藤副学長に伺いました。

### 1 統合キャリアセンターSUとは、 どのようなセンターなのでしょう。

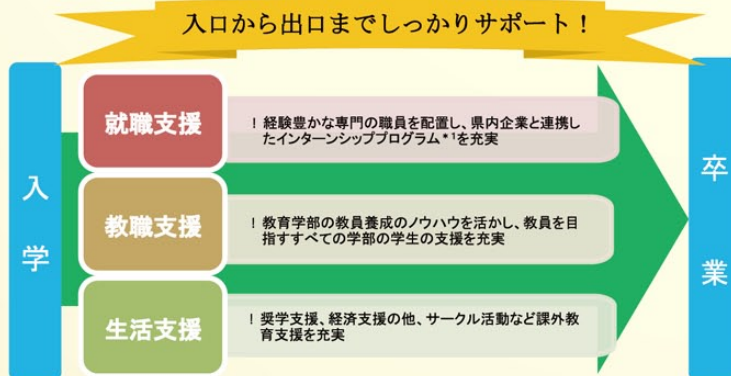
☆統合キャリアセンターSUは、学生の入学から卒業まで就職・教職・生活について一貫して支援するセンターで、今年4月に開設しました。SUはSaitama Universityの略です。

### 2 キャリアとは どのような意味なのでしょう。

☆キャリアは、狭い意味では「職業・技能上の経験や経歴」として使われてきましたが、現在では「働くことにかかわる生活や生き方」として広い意味で使われています。統合キャリアセンターSUの前身である学生支援センターでも、広い意味のキャリア形成支援もしてきましたが、統合キャリアセンターSUでは、これまで以上に広い意味のキャリア形成支援を充実させることにしました。すなわち、学生の卒業後の生き方も見据えて、学生の入学時から卒業時まで、さらには卒業後も含めてキャリア形成支援をすることにしました。その一環としてキャリア教育を充実させました。

### 3 キャリア教育をどのように 充実しているのでしょうか。

☆大学全体の教育を企画する教育企画室では、埼玉大学に適したキャリア教育を企画・実施するためにキャリア教育担当の専任教員を新規に採用することにしました。また、キャリア教育の根幹を占めるインターンシップ(就業体験)を強化するため、統合キャリアセンターSUではスーパーバイザーを新規に採用しました。さらに、キャリア教育に関わる教育企画室と統合キャリアセンターSUの関係者からなるキャリア教育・支援戦略チームを立ち上げ、どのようなキャリア教育をどのように実施していくのか検討してきました。そして、今年から地域志向科目を創設し、また課題解決型長期インターンシップを実施することにしました。



\*1 就職活動が本格化する3・4年生のためのプログラムに加え、1・2年生向けのプログラムも用意します。





## 4 地域志向科目というのはどのようなものですか。

☆大学教員では十分に伝えることができない、企業や自治体の方による現場の話題を通じて、学生に首都圏埼玉における産業活動への理解を深めてもらい、「働くとはどういうことか?」「どのような人材が求められているのか?」「そのためには今何をすれば良いのか?」を考えたもらうために創設した授業です。大学での学びに対する各自の目標がより早く持てるようになることを期待しています。

## 7 統合キャリアセンターSUでの教職支援はどのようになっているのでしょうか。

☆教育学部では、教員養成推進室を設け、学生への組織的な教職支援をしてきました。他の学部では、学部毎に学生への教職支援をしてきました。しかし、今年度中に学部事務が集約されるのを機会に、統合キャリアセンターSUのもとに教員養成推進室を置き、全学的な教職支援に変える予定です。そのようにして、教育学部の教員養成のノウハウを活かし、教員を目指すすべての学生への支援を充実させていきます。

## 5 課題解決型長期インターンシップとはどのようなものですか。

☆企業が抱える課題を解決するために、長期(3~6ヶ月程度、週1~2回)にわたって就業体験をするものです。目的が明確ですので、学生が得られる成果は通常のインターンシップよりも大きく、実社会への適応能力の高い実践的な人材の育成につながると言われています。なお、埼玉大学では今年から4学期制を導入しましたので、長期のインターンシップに取り組んでも、その学期の履修科目を少なくすれば、履修計画への影響は小さいものに留まります。

## 8 統合キャリアセンターSUでの生活支援はどのようになっているのでしょうか。

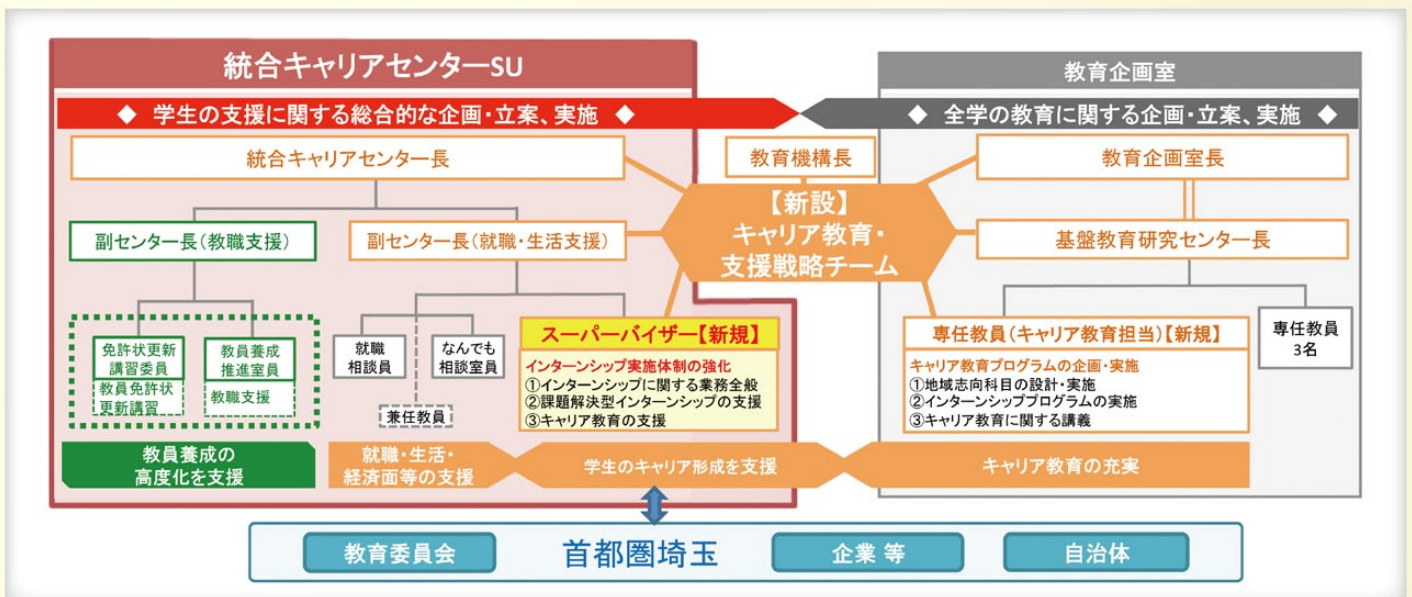
☆経済的理由により入学金・授業料の支払いが困難な学生には、全額または半額を免除する制度があります。また、学生ガイダンスの補助や図書整理などを依頼する学内ワークスタディ事業を平成26年度から始め、経済的支援をしています。悩み事などあらゆる分野の相談に応じる「なんでも相談室」も開設しています。このように、統合キャリアセンターSUでは学生生活のあらゆる面で支援していますが、今後、さらに充実を図っていきます。

## 6 キャリア教育・支援については分かりましたが、統合キャリアセンターSUでは他にどのような就職支援をしているのでしょうか。

☆各種の就職セミナーや学内合同企業説明会を開催しています。通常のインターンシップの支援もしています。また、就職相談室を設置し、専門的知識を有するキャリアカウンセラーによる個別の就職相談も行っています。

## 9 地域との連携はどのようにしていくのでしょうか。

☆今年から、地域志向科目の創設や課題解決型長期インターンシップを実施するために、首都圏埼玉の自治体や企業等と連携を強化しました。その窓口となったのが、統合キャリアセンターSUです。今後は、連携をより強固なものとし、地域と学生のニーズに十分に答えられる体制を整えていきます。首都圏埼玉において、より一層輝く大学にしていきますので、ご期待ください。





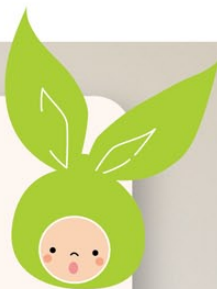


なぜ、埼大？ だから、埼大！

Why did you select Saidai? Because...

Why did you select Saidai? Because...

# なぜ、埼大？ だから、埼大！



教養学部

教養学部 教養学科1年  
齋藤 璃香さん  
福島県立橘高等学校出身

日本には大学が国公立合わせて779校  
(平成27年度:文部科学省・学校基本調査)あります。  
そんなにたくさんの大学のなかから  
埼玉大学を目指してきた学生には、きっと何か理由があるはず。  
入学して約3か月、少し学生生活にも慣れてきた新1年生に  
「なぜ埼大を選んだの?」と、聞いてみました。

授業にサークルに、  
大学生活をいま、  
めいっぱい  
楽しんでいます。



**大**学に入ったら留学したい。進学にあたって漠然と思い描いていたのはその1点でした。それ以外はとくに学びたい専門分野も絞れない。だから、いろいろな分野の授業に触れてから進路を決められる教養学部が適しているかなど。なかでも埼玉大学はグローバル人材育成で留学に力を入れている、ここしかないと思って受験しました。いまはまだ具体的な留学のプロセスには入っていませんけれど、説明会に参加するなど着々と準備を進めています。

大学生活は思っていたよりも自由度が高いです。だからこそ、勉強にしろ生活にしろ、自分で自分を律して行動しなくてはなりません。さまざまなチャンスの芽を大学は提示してくれますから、その機会を活かすため、自ら積極的に情報を集めに行く姿勢が大切だと感じています。受験時から将来を見据えて専門学部を目指すのもよいことだと思います。でも私のように教養学部でやりたいことを探す方向性も、選択肢のひとつに加えてみてはいかがでしょうか。







## 教育学部

教育学部 学校教育教員養成課程  
小学校コース文系1年  
中村 絢音さん  
さいたま市立浦和高等学校出身



中

学生のころから教員になりたいと考えていたため、教育学部に進学することだけは決めて受験対策を行い、自宅から通える埼玉大学に進みました。埼玉の魅力は、そもそも教員養成学校に元を発する大学だけあり、教員になるための環境が整っていることです。目標は小学校の教員になることですが、科目の取り次第で中学・高校の免許取得も可能です。

大学では自由に自分の好きな科目を選んで履修すると想像していたのですが、教育学部だからか、ほとんどが必修で選ぶなどという余裕はまるでありません。そこがイメージしていたのと違うところですが、逆に良いイメージギャップもありました。私のコースにはクラスがあり、クラス単位の授業のため、高校のような友だち付き合いができています。サークルにも2つ所属して、友だちの輪はすごく広がっています。

2年次からは専修が始まります。定員があり、必ずしも希望通りになるとは限らないと聞いていますが、どの専修でも精いっぱい頑張りたいと思います。

授業を教えるだけではなく、  
イベントも生徒と一緒に頑張り、  
心の支えになるような先生になりたい。

これができれば一人前の理系学生。  
レポート提出をためない、  
時間をしっかり自分で管理する、

## 工学部

工学部応用化学学科1年  
児島 和樹さん  
さいたま市立浦和高等学校出身

ち

ようど受験勉強をしているときに、埼玉大学出身の梶田先生がノーベル物理学賞を受賞したニュースが報道されていました。ノーベル賞受賞者を輩出する大学だから、きっとなにかある、自分もなにかできるかもしれない、よし埼玉大に行こう。これが第三の理由。第一の理由は地元だからです。

先輩から工学部は男ばかりでむさくしいと聞かされていて、覚悟して入学したのですが、埼玉大は文理5学部がひとつのキャンパスに集まっているためか、意外と女子が多いのに驚きました。理系オタクに囲まれて勉強に励むという私の偏見は見事に打ち砕かれました。この文理同一キャンパスは埼玉大の魅力のひとつだと思います。いろいろな学部の各様の考え方をを持った学生が集まっているため、自分とは違った考え方に触れ、幅広い思考力を養える機会にあふれているからです。

受験勉強とは関係ありませんが、大学に入ってから心がけるとよいことを教えます。出会った人の名前を必ず1回で覚えることです。2回目に会ったとき、覚えていることできっと円滑なコミュニケーションが生まれますよ。







**高橋 哲** Satoshi TAKAHASHI  
教育学部 教育学講座 准教授

◎経歴

2001年 埼玉大学教育学部 卒業  
2007年 東北大学大学院教育学研究科 単位取得退学  
2007年 日本学術振興会特別研究員(一橋大学)  
2008年 博士(教育学)取得(東北大学)  
中央学院大学専任講師  
2011年 埼玉大学教育学部准教授  
2016年 米国コロンビア大学客員研究員

**先生が生き生きと子どもたちと向き合える教育現場をつくるために。**

大学に進学したのは、小学校の教員になるためでした。子どもたちと毎日過ごせるステキな仕事だと思っていたし、教育実習でもよい先生に出会えて、小学校の先生を生涯の仕事にするつもりでいました。ところがその教育実習で、現場の教員は通常の授業以外に教育委員会との対応、保護者対応などで子どもと向き合う時間が取れないほど忙しい、さらにさまざまな締め付けで思うように動けない。本当にまじめで良い先生たちなのに報われない状況にあることを見てしまったのです。そこでちょっと方向転換して、先生が子どもたちと生き生きとした教育活動ができる条件とは何かを探るために大学院に進みました。これが研究者になった最初のモチーフです。



教員が自分の生活や身分が保障されて安心して教育に取り組める法制度や仕組みを研究していくうちに、アメリカの教育にも関心をもちました。日米の教育に関する法制度の違い、共通点を探るために、大学院生の時にアメリカに短期留学をしました。そこでつぶさに見た実態は、相違点、類似点さまざまですが、私の研究の軸足を変えるほどの衝撃を与えてくれました。教員を取り巻く法制度、環境整備も大切ですが、同時に子どもが平等に教育を受ける権利が本当に保障されているのか？ という問題が立ち上がってきたのです。

**10年、20年先を見据えた教育の未来像を描く。**

子どもが平等に教育を受ける権利を保障するために。アメリカではじめて調査に行ったのがミシガン州デトロイトでした。日本でも肯定的に受け入れられ始めていた学校選択と公設民営学校(チャータースクール)の導入が進んでいるといわれた都市です。かつてアメリカの公立学校は人種差別を撤廃することが前提とされていました。しかしデトロイトでは自動車産業の衰退により街が荒廃した状況で学校選択が逆方向に働き、むしろ人種差別が広がっている傾向が見られました。さらに貧困層が集まるチャータースクールでは財政難により満足な教育を施すことができない、負のスパイラルに陥っていました。この状況を見て、学校選択や学校間競争は必ずしも教育環境をよくしないと強く思ったのです。

いま日本の政府は、競争をおおって学校選択を拡げ、教育に民間企業が参入できる仕組みをつくり新自由主義の教育改革を推し進めています。もちろん光の当たる良い部分もあります。しかし必ず影の部分があることを無視して突き進むのは決して良い結果を生まないと確信しています。最近では貧困家庭の子どもの教育問題、また地域間格差などアメリカが抱えてきた問題が日本でも顕在化しています。平等に教育を受ける権利がないがしろにされている。これをなんとかしなくては行けない。警鐘を鳴らし、良い方向に制度を向けさせるのが研究者の役割・責任だと思っています。

私の提言で教育環境がすぐには変わるとは思いません。しかし、10年、20年先を見据えて、20年後にこうなっていてほしいというビジョンを描き、声を上げてゆくことが必要だと思います。すべての子どもが、ひとしく教育を受けられる法制度をつくり、また、管理的な環境のなかでも一生懸命子どもたちと向き合っている現場の先生たちに、あるいは、これから教育者になろうとしている人たちに、追い風を送り、明るい展望が拓けるような研究をこれからも続けてゆきます。



**大学では自分の座標軸、価値観の根底を形成することが大切。**

私がゼミで学生に実践しているのは、自分で考える力を身に付けてもらうことです。ゼミの運営は学生主体で、勉強するテーマも学生が決める。問題は何か、なぜ、問題が生じているのか？ 自分で考えて、学生同士が議論することを徹底しています。私は指針を示し、ある程度のフォローはしますが黒衣に徹します。文科省は「明日すぐに役立つ実践的指導力をつけさせる」といいますが、それは現場に出てからで十分。大学では、突発的なできごとにマニュアルを見て対処するのではない、自分で考えて、判断して行動する力をつけることが大切だと考えています。

**「なるほど」と、学生に教えられることが多いほど、うれしい。**

文科省のある政策をゼミで議論したときのこと。その狙いについて、多くの教育研究者が解説し、ゼミ生の多数もその見解に同意しかけているときに、ひとりだけがまったく違う角度から意見を出したんですね。そう考えると、本題ではないけれど違う政策のいくつかがある線で結び付けられる。本当の狙いはそっちだった？ と。すごいと思いましたね。こうした考える、論理的に意見が言える、そんな学生と議論ができることが本当に楽しいです。



# 工学部 / 電気電子システム工学科 金子裕良研究室

Welcome to my laboratory

ラボ探訪



**金子 裕良** Yasuyoshi KANEKO

大学院理工学研究科 教授 数理電子情報部門電気電子システム領域

◎経歴

- 1988年 埼玉大学工学部電気工学科卒業
- 1990年 埼玉大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程 修了
- 1990年 新日本製鐵株式会社エレクトロニクス研究所入社
- 1991年 埼玉大学工学部電気工学科助手
- 1994年 埼玉大学で博士(工学)を取得
- 1994年 埼玉大学工学部電気電子工学科講師
- 2008年 埼玉大学大学院理工学研究科准教授
- 2014年 現職



レンタル自転車のワイヤレス給電装置(2016年3月実証実験時)

## 古くて新しい電気機器技術の追求が、いまのワイヤレス給電技術開発につながる。

埼玉大学大学院理工学研究科のマスター終了後、鉄鋼メーカーの研究所に就職し、1年間ロボットビジョンの研究に携わっていました。折しもさまざまなメーカーの製造工場では産業用ロボットの導入が進み、生産ラインの効率化、高品質化が実現するとともに、ロボット自体の高性能化が望まれていた時期でした。私の修士論文のテーマは溶接ロボットに人間の溶接熟練工の技術を移植するというもの。溶接ロボットはメカ機構、制御プログラミングも重要ですが、何より熟練工が目や耳でセンシングした情報をもとに働いている微妙な熱源の調整、溶接電源制御が肝となっており、そこに私の最も興味をそそる

部分があったのです。

就職後1年を経た後、もっと私自身のテーマを掘り下げたいという欲求から、もう一度埼玉大学の研究室に戻り、ロボットや電源の基本となるモータや変圧器、インバータなど、古くて新しい電気機器やパワーエレクトロニクスの技術を一から勉強して、溶接ロボットの知能化に役立つ溶接電源の制御方法を研究するとともに、これらの技術の新たな応用分野を模索していました。それがいまの主要研究テーマであるワイヤレス給電の研究・開発につながっています。

## ワイヤレスで、いつでもどこでも電気エネルギーの供給を。

電気自動車だけでなく、二輪車、家電、住宅などさまざまな分野にイノベーションが期待される。

ワイヤレス給電とは、文字通り電気コードやプラグを必要としない非接触の充電システムです。この技術自体はそれほど新しいものではなく、すでにスマートフォンや電動歯ブラシなど小型小電力機器(5W未満)の充電装置として実用化されています。しかし、たとえば電気自動車など大きな電力を充電する場合のワイヤレス給電は、電磁気の漏えいによる周辺の人や電子機器への影響、または熱になって逃げてしまうエネルギー損失などのボトルネックがあり、その解決と実用化に向けて大学研究室や民間企業が盛んに研究開発を進めている段階です。

そのなかで電気自動車の駐車中ワイヤレス給電は、クルマ自体に搭載されたオートパーキングシステムの発達も後押しし、給電装置の形状、方式ともに標準化の域に達しています。しかし、電気自動車の充電には時間がかかるなど、長距離の移動にはまだまだ十分とは言えません。そこで私たちは次のステージとして走行中ワイヤレス給電を研究・開発しています。道路設備に給電装置を設置し、その上を走るだけで受電・充電ができる。これが実現すれば1回の充電で走れる距離を気にすることもなく、ステーションで時間を潰す必要もなくなります。また、私たちが採用しているアーチ形の磁界を用いた磁気結合方式は小型化できる特徴があるため、二輪車へのワイヤレス給電応用にも取り組んでいます。こちらは電動アシスト自転車に搭載し、2016年3月、JR武蔵浦和駅と南与野駅に展開するレンタル自転車で実証実験を行い、普及実用化に向け弾みとなる成果を上げています。

このように、いつでもどこでも安全に簡単に電気エネルギーを供給できるワイヤレス給電は、非接触コンセントとして、モータビリゼーションに限らず家電、住宅業界などさまざまな方面から新たなイノベーションを生む技術として期待されています。それらを支えるキーテクノロジーの開発に携われるのは研究者として大きなやりがいになっています。

## さまざまな研究テーマが ちりばめられた、 宝石箱のような大学

埼玉大学には世界最先端の研究もあれば、地域に根差した地道な研究もあります。また、古くからある技術にスパイスをかき入れることで、世の中を変えるような新たなシーズを育てることもできます。何が何でも最先端ではなく、すべてを許容してくれるおらかな環境が埼玉にあります。あまり特長がないと言われるかもしれませんが、許容範囲の広さが特長だと私は思っています。

## 研究成果が商品となって世の中の役に立つ。 これが工学部研究開発のだいご味。

私たち研究者は、最終的な研究結果は論文に表すこととなります。しかしそこで終わりではなく、工学部の研究開発に独特なのは、その研究が製品に結びついて世の中に出ることです。目に見える形で商品となり人の手に触れる。役に立って評価される。「これは自分がつくったものだ」と自慢できるのは工学部ならではのよさですね。





# 駐日欧州連合 代表部を訪問

国際社会の雰囲気を感じ、  
国際人との交流のなかから  
世界への視野を拓けてほしい。

※駐日欧州連合(EU)代表部は、日本においてEUを代表する外国使節団の地位を全面的に享受しており、そのトップは駐日EU大使です。



加藤 基客員教授(前列左から4番目)

WOOTEN広報部長(前列右から4番目)

教科書にはない、生きた国際交流の場を提供。

加藤 基(Motoi KATO) 教養学部客員教授

この一連の授業は、世界各国の在京大使館や国際機関より、外交官、専門家を招いて、各国のさまざまな現状や問題点などの講義を聴取、意見交換することで、国際社会に対する知識、見識を拓けてもらうことを目的としています。今回は「Introduction to the EU, EU-Japan relations」をテーマとして駐日EU代表部を訪問しました。

日本にしながら世界を学び、体感できる。国際人との交流によりグローバル社会で必要なスキル習得もできます。また、相手方のみならず、日本にしながら日本の将来を担う学生と交流を深めることができると、この機会をととても楽しみにしています。

科目としては教養学部開設科目ですが、全学にオープンにしている授業です。受講生も各学部生から大学院生まで多士済々。文化、政経、語学など、なんらかの国際分野に興味のある人なら、この生きた国際交流の場で、きっと将来に向けてのモチベーションをつかんでくれると期待しています。



KELNER氏



## Message

駐日欧州連合代表部  
学術協力担当 広報部

Richard KELNER

Let me compliment you on the excellent quality of the students.

All were equally motivated and interested which was very encouraging for me.

## Message from student



石井 イルム  
ホルシード さん(写真右)

教育学部4年生

普段お会いできない外交官や国際機関の方々に直接会うことができ話を聞けることが、この授業の醍醐味です。

清水はるか さん(写真左)

教養学部3年生

今までヨーロッパの文化について勉強してきましたが、この授業で政治や経済についても学ぶことができ、この秋ヨーロッパに留学する上でとても役に立つと思います。





埼玉大  
国際交流推進  
活動

さいたまスポーツフェスティバル2016&  
埼玉大ワールドカップ

全世界共通言語のスポーツを  
通して、交流の輪を広げたい。

「さいたまスポーツフェスティバル  
2016」に留学生と参加

2016年5月1日、さいたまスーパーアリーナで「さいたまスポーツフェスティバル2016」が開催され、私たち埼玉大ワールドカップ実行委員会は、さいたま市からの招待で初めて参加させていただきました。「埼玉大ワールドカップ」などの、これまでの交流活動が評価されたものと思っています。

当日は、留学生と子どもとのスポーツを通しての交流を目的に、サッカーボールを使った2種類のミニゲームを行いました。埼玉大からは8カ国20人の留学生が参加し、子どもと一緒にボールを蹴ったり、応援したり、普段の大学生活では接する機会のない日本の子どもたちとともに楽しんでいました。留学生からは「また参加したい」という声が寄せられましたし、子どもたちからも「楽しかった」、「もう1回やりたい」といった声が聞け、次につながる有意義なイベント参加になったと思っています。

知名度があり大規模なイベントですし、学生の参加は私たちだけだったので、とても緊張しましたが、今後も留学生や来場者の笑顔を見るために、レギュラー参加できたらいいなと思っています。

「また参加したい」の声がある  
限り続く、埼玉大ワールドカップ



埼玉大ワールドカップは回を重ねるごとに充実度を増しています。10回目(5月21日)を迎えた今回は参加企業8社81人、留学生は17カ国85人、とくに今回は正規留学生に加え、交換留学生の枠を新たに設けたので、より多くの国からたくさんの学生に参加してもらえました。

企業・社会人と留学生、または留学生同士の接点・交流の場をつくる目的で始められた埼玉大ワールドカップ。そこにコミュニケーション促進役として日本人学生ボランティアが加わり、より深く広い交流の輪ができていていると感じています。実行スタッフとしては無事故で終わることが何よりの願いですが、参加した誰もが本気でプレイを楽しみ、交流会で笑顔や会話のはじける様子を見られるのが一番のよろこびですね。



埼玉大ワールドカップ  
実行委員会 代表  
笹生 彩さん (左から4番目)  
教養学部教養学科 4年  
埼玉県立不動岡高等学校出身

イベント開催は私たち数人の実行委員だけでは成し遂げられません。準備段階で多くの企業、留学生の助言、お手伝いをいただきます。そのなかで、社会人からは社会に必要なマナーを学び、さまざまな国の留学生との交流からは、お互いの文化・意識を共有すること、理解すること、尊重することを学びました。これは私だけでなく、スタッフ全員の共有財産となり、今後の生活に必ず役立つものになると思っています。





Close Up:01

# 埼玉大学の

# 生の声を聞いてみよう!



埼玉大学って  
どんなところ  
だよ!

受験を控えた高校生みなさん、志望校をそろそろ絞り始めるころだと思います。ネットや情報誌で調べるのは必須ですが、やはり自分の目で実際の姿を見て雰囲気を感じるのが一番です。この時期、各校ともオープンキャンパスなどを開催して、その機会を提供しています。埼玉大学でもさまざまな大学体験の機会をみなさまのために用意しています。ここでその一部を紹介します。ぜひ、緑豊かな埼玉大学のキャンパスに足を運んでください。

## 大学見学会

埼玉大学では大学の説明を聞いたり、模擬授業、埼玉大生との懇談、キャンパスツアーなどが体験できる大学見学会を実施しています。高等学校の先生から、学校単位でお申し込みください。



□窓口受付時間

**入試課 9:00~17:00**  
(土・日・祝日・大学休業日を除く)

※個人見学も可能です。自由見学となりますが、土・日・祝日も見学ができ、資料の入手も可能です。窓口受付時間内であれば、各種相談や学生宿舎の見学もできます。

## 進学説明会

埼玉大に興味があり、聞きたいことや調べたいことがあるけれど、大学まで行くことができない。そんな人は各地で行われる進学説明会にご参加ください。大学の説明や入試情報などを聞くことができます。お近くの会場にぜひお越しください。

平成28年度進学説明会 埼玉大学の参加予定は右記の通りです。



開催日	開催地	会場	イベント名
7月31日 (日)	神奈川	パシフィコ横浜	全国国公立・有名私大相談会
8月7日 (日)	北海道	札幌ACU	主要大学説明会
8月18日 (木)	東京	東京ビッグサイト	主要大学説明会
8月21日 (日)	愛知	名古屋国際会議場	主要大学説明会
8月28日 (日)	広島	広島国際会議場	主要大学説明会
9月13日 (火)	富山	ANAクラウンプラザホテル富山	大学・短期大学進学相談会
9月14日 (水)	石川	金沢駅もてなしドーム	大学・短期大学進学相談会
10月1日 (土)	宮城	夢メッセみやぎ	夢ナビライブ2016
10月10日 (月・祝)	東京 千葉	駿台立川校 駿台津田沼校	首都圏国公立大学説明会
10月15日 (土)	福岡	マリメッセ福岡	夢ナビライブ2016
11月3日 (木・祝)	神奈川 埼玉	駿台横浜校 駿台大宮校	首都圏国公立大学説明会
11月13日 (日)	宮城	駿台仙台校	首都圏国公立大学説明会
11月23日 (木・祝)	長野	信学会長野予備学校	首都圏国公立大学説明会
11月27日 (日)	東京	駿台池袋校	首都圏国公立大学説明会

## 出張講義

生徒に大学の講義を体験させたい。そんなときは出張講義をご活用ください。大学の教員が高校に出向いて講義を行います。高等学校の先生から、学校単位でお申し込みください。

□講義テーマ(工学部機能材料工学科の場合)

**テーマ1 目で見える色、見えない色(機能性色素)の世界**  
— 生物の不思議を理解しよう —

植物で光合成を行う葉緑素の基本となる分子と動物で酸素を運搬するヘモグロビンの基本骨格は、不思議なことに基本的に同じです。ただその機能を発揮するには金属の助けが必要でそこが違います。本講義ではそれぞれの構造の特徴と動きを概説するとともに、光機能材料としての応用についてお話します。また、実際植物(ほうれん草)からクロロフィルを取り出すという簡単な模擬実験を行います。

**テーマ2 今、シリコンがおもしろい**  
～岩石から最新医療材料まで～

先端技術を代表するCDや半導体、手触りの良いシリコンの主成分は、実は道端に転がっている石の主成分と同じシリコン(ケイ素)なのです。シリコンを使った材料の紹介や今後の展望についてお話します。また、簡単な実験も行います。

大学見学会/進学説明会/出張講義の申込方法など、  
詳細はアドミッションセンターホームページをご覧ください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/nyu/info/briefing/>



Close Up:02

# 学生の味方! 食堂・売店の紹介

学生の胃袋を満たしてくれる学食。栄養バランスが考慮されボリューム満点、しかもリーズナブル。今も昔も学生の強い味方です。学生以外、一般の方もご利用いただけます。大学にお越しの際は、ぜひ味わってみてください。

## バル・メリンの森

落ち着いた店内でゆっくりお食事を楽しめます。



## 第1食堂 (けやきホール)

お昼はカフェテリア形式で、自分が食べたいメニューを組み合わせることで定食にできます。夜はビュッフェ形式になり20時まで営業しています。昼と夜、1日2回利用する学生も!

## 第2食堂

お昼にビュッフェ形式があり、好きなメニューを好きなだけ量り売りで利用できます。もちろん定番カレーや丼もの、麺類の種類も豊富。天気の良い日は外のテラス席が人気です。



### バル・メリンの森 人気メニュー Best3 (2016年4月1日-4月30日 埼玉大学生協同組合調べ)

**No.1 鶏肉と野菜の黒酢あん** 650円

**No.2 ハンバーグカレードリア** 700円

**No.3 油淋鶏** 650円



### 第1食堂・第2食堂 人気メニュー Best3 (2016年4月1日-4月30日 埼玉大学生協同組合調べ)

**No.1 豚みそ焼肉丼** 378円

**No.2 チキンおろしだれ** 302円

**No.3 味噌ラーメン** 356円



● 食堂のほか、お弁当などを購入できる売店も充実しています ●

## 第1食品部 (けやきホール内)



おにぎり、サンドイッチといった軽食から、お弁当、お菓子まで学生が欲しくなる商品が勢ぞろいしています。

## 第2食品部



おにぎり、サンドイッチ、お弁当、飲料はフルラインナップ。食堂内で焼き上げた「焼きたてパン」が大人気です。

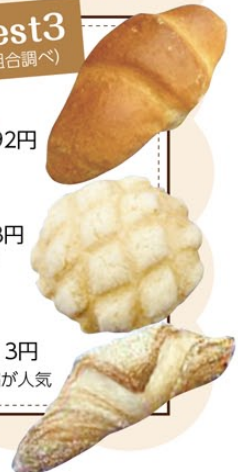


### 人気焼きたてパン Best3 (4月11日-5月6日 埼玉大学生協同組合調べ)

**No.1 塩バターパン** 92円  
2015年のヒット商品。毎日買う方も!

**No.2 メロンパン** 133円  
塩バターパン登場までの不動の大人気

**No.3 桜餡巻きクロワッサン** 113円  
期間限定商品。4月は桜餡が人気



## ローソン



お弁当、飲み物などを買ってすぐ食べることでできる併設カフェスペースが140席。木陰が涼しい落ち着いた雰囲気のあるウッドデッキも利用できます。

LAWSON Saitama University

埼玉大学生協同組合: <http://www.univcoop.jp/saitama-u/info/time.html>  
ローソン埼玉大学: <http://store.lawson.co.jp/store/035688/>





Saitama University Congratulations!  
学生表彰


学術研究や課外活動の場で、埼大生が大活躍しています。  
埼玉大学に入学して、先輩たちを手本として頑張ってみませんか？



学長を囲んでの記念撮影

所属	氏名	サークル名等	受賞内容等	大会名等
教育学研究科	三島 直人		『日本数学教育学会会誌』に、論文「『90°システム広告』の作図方法に着目した数学教材—中等教育段階における課題学習教材の一例として—」掲載	「日本数学教育学会会誌:数学教育」
理工学研究科	田中 尚志		若手優秀発表賞 受賞	第38回分子生物学会年会・第88回生化学会大会合同大会
理工学研究科	斎藤 雄介		Outstanding Poster Presentation 受賞	APO2015/WPOC2015
理工学研究科	藤田 雅大		ポスター賞 受賞	第26回基礎有機化学討論会
理工学研究科	大家 有紀子		学生優秀発表賞 受賞	第3回国際レチノイド研究会
理工学研究科	山口 祥平		優秀ポスター発表賞 受賞	第23回日本行動神経内分泌研究会
理工学研究科	西岡 潤		奨励賞 受賞	第27回 回路とシステムワークショップ
理工学研究科	永嶋 雅俊		優秀講演賞 受賞	2015年度砥粒加工学会学術講演会
理工学研究科	SHRESTHA ASHISH		Excellent Presentation Award 受賞	第15回日本地震工学会年次大会
理工学研究科	田中 相子		最優秀ポスター発表賞 受賞	第23回日本行動神経内分泌研究会
理工学研究科	戸田 明日来		Excellent Poster Presentation Award 受賞	2015 KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics
理工学研究科	北村 知也		Best Presentation Recognition 受賞	IECON2015
理工学研究科	大野 暁人		優秀講演賞 受賞	2015年度砥粒加工学会学術講演会
理工学研究科	清藤 温		優秀講演論文賞 受賞	第24回MAGDAコンファレンス
理工学研究科	野際 章人		最優秀賞、計測自動制御学会RTミドルウェア賞 SI2015優秀講演賞 受賞	RTミドルウェアコンテスト2015
工学部	谷上 大貴		Outstanding Demo! Award 受賞	2015 IEEE 4th Global Conference on Consumer Electronics
教育学部	金子 真太郎	相撲部	個人戦第3位	第33回全国国公立大学対抗相撲大会
		柔道部	準優勝	第57回全国国公立大学柔道優勝大会
		相撲部	団体戦第3位	第33回全国国公立大学対抗相撲大会

SEARCH 金子 真太郎



得意技は、右前まわしをとっての出し投げ。身体はそれほど大きくないので、いろいろな技を駆使します。私が感じる相撲のだいご味は、小さくても技や作戦を使って大きな選手を倒せることです。国立大の相撲部は大学に入学してから相撲を始める人がほとんどです。国技を担うなんて大それたことは考えずに、ひとつのスポーツと思って門をたたいてくれるとうれしいですね。今後、小学校の教員を目指しますが、なんでもいいから自信をもって取り組めることを見つけ伸ばしてあげられる先生になりたいと思っています。

かねこ したろう  
**金子 真太郎**さん  
教育学部総合教育学専攻4年  
東京都立足立新田高等学校出身

第3位 第33回全国国公立大学対抗相撲大会  
個人戦第3位

SEARCH 田中 相子



中学生のときに、「話を聞かない男、地図が読めない女 -男脳・女脳が「謎」を解く」(著:アラン・ビーズ 主婦の友社)を読んで衝撃を受け、脳科学、とくに脳の性差に興味をもったことが、いまの研究につながっています。受賞研究は、マウスとスunks(和名:ジャコウネズミ)の脳の性差を、カルビンディンというたんぱく質の脳内分布を比較することで調べるもの。結果としてマウスとスunksの脳の性差の類似点と相違点を明らかにでき、今後研究を発展させてゆく基礎データを形成できたことが評価されました。

たなか ともこ  
**田中 相子**さん  
大学院理工学研究科 生体制御学コース  
山口県立宇部高等学校出身

最優秀賞 第23回日本行動神経内分泌研究会  
最優秀ポスター発表賞





circle introduction  
サークル紹介  
**有機農業研究会**

PASSION



自然と人と地域社会のつながりから、  
自分の可能性が広がっていく。



**Q** 有機農業研究会はどんな活動をしていますか？

**A** 有機農研の活動は、主に金曜日の4,5限に有機農家の館野廣幸さん、櫻井恵さんの指導のもと大学内外にある畑や田んぼで有機野菜、有機稲作を実践しています。また、収穫した作物の調理・加工や草木染め、田んぼのなかの生き物調査などに取り組んでいくことで、農産物や自然への関心を高め、自然に調和した暮らしを探究しています。

さらに、有機農業は自然だけでなく、人との有機的な関係性を大切にしているので、さまざまな地域社会のみならずにお話を伺い交流を深めています。具体的には、夏休みや春休みの間に、岩手県江刺や、福島県二本松、高知県土佐佐賀といった地域を訪問し、地元の方からその土地の自然や文化、歴史を学び、理解していく過程でつながりを作り出すことを目指しています。

有機農研では交流のきっかけになる手段として紙芝居にも挑戦しています。これは紙芝居を演じることで、感想を語り合うことができ、コミュニケーションの出発点になると考えているからです。

栽培技術はもちろんですが、有機農業を総合的な視点から捉えられるような活動をしています。

**Q** どういったところに面白さや魅力を感じますか？

**A** 有機農研の特徴は、学生だけでサークル活動をしていくのではなく、顧問の先生や有機農家、社会人の方々のサポートを受けて活動しているところです。学生だけでは気づくことができない考え方や、有機農園を実際に見学し作業をさせてもらうことで、実践型の活動に参加できるところが魅力だと思います。

有機農業では、環境問題や食の安全といった自分の生活にとっても身近な問題を扱っていますが、私自身はこういった問題に対して、以前は「知っているけど、自分では手の付けられない問題」という認識でした。しかし有機農研の活動のなかで、山梨県の有機桃農家を訪問した際に、「有機農業では、全体の問題を自分の問題として捉えることができるかどうかが重要です。」というお話をいただきました。そこで、今まで自分がいかに無責任な考え方をしていたかということに気付くことができました。大きな問題を他人事として受け流すのではなく、主体的に取り組んでいく大切さを実感できたことも、私にとっての大きな糧になったと思います。



有機農業研究会 会長  
**渡辺 峻**

工学部応用化学学科3年  
静岡県立静岡東高等学校 出身

■主な年間活動

- 4月: 桃のお花見(山梨県塩山)・新入生歓迎会(うどん作り)
- 5月: 春合宿(栃木県の館野農園)
- 6月: 縄文土器作り
- 7月: 紙芝居サミット
- 8月: 地域交流(岩手県の江刺地域訪問)
- 9月: 酪農体験学習(キープ牧場)・夏合宿(長野県の織座農園)
- 10月: さいたま市みどりの祭典(市民のみなさんと紙芝居)
- 11月: 秋合宿(福島県の二本松訪問)
- 12月: 日本有機農業学会大会
- 5月~8月は夏野菜(トマト、ナス、ピーマンなど)の栽培
- 6月からは稲作
- 9月からは秋野菜(ネギや白菜など)





# 活躍する卒業生からの メッセージ

THE MESSAGE  
FROM  
A GRADUATE



## PROFILE

1988年 神奈川県生まれ  
2007年 神奈川県立湘南高等学校卒業  
同年 埼玉大学教養学部教養学科  
教養学部教養学科文化環境専修文化人類学専攻  
入学  
2013年 同 卒業



## 高校生、埼大生の君たちへ。 スマホを置いて、本を読もう、人と話そう。 やってみたいことがあれば、まず始めよう。

埼大の良さは、「ひとつのカラーに当てはめられない」ことですね。いろんな人が受け入れられている。いろんなものが突合せずたくさんある。良くも悪くも、何をしなくてはならないという縛りが無いから自分にはピッタリでした。そういえば、テラフォーマーズの作画を担当している橋先生も、埼大(教育学部)出身者なんですよ。

### 職業・原作者は予定進路だったのですか？

原作者を名乗るようになったのは、つい最近のことですね。いわゆるジョブチェンジです。はじめは絵を描くほうの漫画家になるつもりでした。

小学校2年生のときに『世紀末リーダー伝たけし! (作:島袋光年)』という漫画を読んで、自分の小遣いで全部買いそろえるほどハマって、それ以来ずっと漫画家になりたいと言っていました。でも小中高校と、その夢は温めていましたが、どうしたらなるのかわからず、とくに絵がうまいわけでもなかったのも、まったく別のことに打ち込んでいました。高校ではラグビー。主将を務め、本気で花園を目指すくらいめり込んでいました。漫画の練習どころか筋トレばかりしていた。(笑)

大学に行ったら漫画の修行に本気で取り組もうという裏動機で埼玉大学に進学し、1年生のときラグビー漫画を1本描き上げて某出版社に持ち込んだのですが、みごとにボツでした。その後もネームという絵コンテを描いては編集者に見てもらっていましたが一向に日の目を見ず、そこで3年生のときにヤングジャンプのアシスタント募集で見つけた橋先生のところに弟子入りさせ

ていただきました。修行してうまくなるかと期待しましたが、使い物にならず3日でクビ。それが契機ですね、自分の力を見極めて、同じ漫画の世界ですけれど、作画ではなく原作の道を進むことになりました。

懲りずにネームを見続けてくれた編集者の言葉も転向への後押しをしてくれました。「君は絵はうまいけど、言葉にキレがあるからストーリーとして最後まで読ませる力がある。原作をやってみたらどうか」と。それからさらに「次は潜水艦か、宇宙船か火星の話を書いてきて」。

### 『テラフォーマーズ』以後の展望は？

これが、デビュー作『テラフォーマーズ』誕生の原点となりました。宇宙やメカ、SFものにはまったく興味がなく、まるで知らない分野の話なのですが、新たなテーマを開発し自分の枠を拡げるチャンスでもあるし、図書館にこもって必死で勉強し、調べて書いていきました。

知らないことを調べるのは好きですね。このことを理解するためには、あっちの知識が必要と、どんどん知識やモチーフの引き出しが増えてゆく。仕事として自身へのインプットに必須の調べものの楽しさやコツは埼大の学生時代に

培われ、鍛えられたと思います。教養学部はけっこうレポートが多く、わりと真面目に提出していましたから。でも、当時は楽しいとは思っていませんでした。(笑)

テラフォーマーズの連載が終わったら、また違ったテーマにチャレンジしたいですね。いろんなことに興味をもって、さまざまな本を読んで、いろいろなジャンルを書ける原作者になりたいと思います。テラフォーマーズだけで終わるのは嫌だし、SFの人とラベルを貼られるのも嫌です。経営者感覚で言うならリスクを覚悟でチャレンジしてゆきたいですね。

埼大でたとえれば教養学部。文化人類学だろうと、芸術、語学…、幅広く学べる。その点に惹かれて私も入学したので、その卒業生として全方向、なんでもありの原作者を目指します。







# 梶田 隆章 先生 (埼玉大学理学部物理学科卒業生 '81年) ノーベル物理学賞受賞 記念講演会 & 植樹式

目と心広く開いて  
大切な出会いへ準備を



素粒子ニュートリノの研究で2015年ノーベル物理学賞を受賞した東京大学宇宙線研究所所長の梶田隆章先生(1981年理学部物理学科卒業)が、2016年4月22日、埼玉大学で受賞記念講演会を行いました。当日は本学卒業生である夫人の美智子さんも出席され、会場の学生たちから大きな拍手で迎えられました。

## 記念講演会『ニュートリノの小さい質量』

### 埼玉大学時代～大学院時代

大学の物理の授業はとて面白く、物理の奥深さ、魅力に惹かれていきました。ただし、多くの時間を弓道に費やしてしまい、もう少し物理を勉強しておけば良かったと反省もしています。

物理を学ぶうちに、大学院でもっと物理学研究をしてみたいと思うようになりました。そのため、4年生になったら弓道部の主将をすることが決まっていたのですが、3年生の秋に無理を言って辞退させていただき、大学院受験の勉強に励みました。このことは、私の人生にとって、重要な決断だったと思っています。

大学院の研究室を選ぶときは、素粒子、宇宙線のような分野に興味があり、小柴研究室に所属しました。

### 研究者時代

実験の原動力は、最初のアイデアと人です。私は信じられないくらい良い先生方、良い仲間恵まれていました。このような仲間に囲まれてさまざまなことを吸収し、自分を磨けることが本当に大切なことです。そのなかで、大気ニュートリノ中のミューニュートリノの数の少なさに疑問を持ったことが研究者人生の転機となりました。ニュートリノ振動の可能性の一端をつかみ、常に自分を正しいと信じて、積極的に研究を進めたことが、最終的にニュートリノ質量の発見につながりました。

若いみなさんは、いつ本当に人生を決めるよ



うな大切な出会いがあるかわからないので、広く目と心を開いて、そして大切なことに出会ったときのための準備をしてください。もし、みなさんのなかで科学研究等、学問の道に進む人が一人でも多くいれば、とてもうれしいです。



## 記念植樹式

講演会後には、理学部講義実験棟前で記念植樹式が行われ、東京大学附属小石川植物園より譲り受けた「ニュートンのリンゴの木(※)」を植樹しました。梶田先生からは「当時大学生だったころ学んでいた建物の前に植樹していただいてうれしいです。本当にいい木を選んでくれました。少しでも多くの学生に埼玉大から学問の道に進んでほしい、若い人には期待しています。」と、未来ある学生たちへのメッセージが送られました。

※「ニュートンのリンゴの木」

リンゴが木から落ちるのを見て「万有引力の法則」を発見したイギリスの物理学者アイザック・ニュートンの生家にあったリンゴの木は、接ぎ木によって1964年、東京大学附属小石川植物園に分譲されました。このリンゴの木は、「科学の心を育てる記念樹」として親しまれており、今回、梶田先生のノーベル物理学賞受賞の記念樹として、小石川植物園より譲り受けたものです。



埼玉大学公式ホームページでは、記念講演会の動画を公開しているよ！ぜひ見てね！





埼玉大学 / 読売新聞さいたま支局 共催

埼玉大学連続市民講座 part7 - 埼玉の“いま”を知り、未来を考える -

高校生のみなさん来てね!



会場 / 埼玉大学全学講義棟1号館1-301講義室 受講料無料 / 事前申込不要

- 第1回 7/23(土) 金子 康子 | よみがえる“宝蔵寺沼ムジナモ自生地”  
14:00~15:40 教育学部教授 -ミクロの目で見たムジナモの生育- **終了しました**
- 第2回 8/27(土) 石上 城行 | さいたまトリエンナーレ 2016  
14:00~15:40 教育学部准教授 -市民参加による国際芸術祭の可能性-
- 第3回 9/24(土) 宗澤 忠雄 | 共に生きる街を創る  
14:00~15:40 教育学部准教授 -さいたま市ノーマライゼーション条例づくりから-
- 第4回 10/22(土) 山下 勇一 | インターネット上のデータから見た埼玉  
14:00~15:40 名誉教授 -データベースとソフトウェアの活用を通して-
- 第5回 11/19(土) 宮崎 雅人 | 社会資本の老朽化と維持管理  
14:00~15:40 大学院人文社会科学研究科准教授
- 第6回 12/17(土) 中川 聡史 | 人口からみた埼玉の過去・現在・未来  
14:00~15:40 大学院人文社会科学研究科准教授

各募集要項配付について

入試の情報は  
これでいっけり!!



- 『平成29年度 入学者選抜に関する要項』
- 『平成29年度 埼玉大学特別入試学生募集要項』
- 『平成29年度 埼玉大学学生募集要項』(11月以降配付)

ご希望の方は **本学ホームページ** ▶ **資料請求** からお申し込みいただくか、  
本学正門脇の守衛所でお受け取りください。

『平成29年度 埼玉大学工学部アドミッション・オフィス入試 学生募集要項』

ご希望の方は **本学ホームページ** ▶ **学部・大学院** ▶ **工学部** をご覧ください。

入試に関するお問い合わせ 埼玉大学アドミッションセンター 電話 **048-858-3036**

秋の学園祭

みんなで行こう!



埼玉大学マスコットキャラクター メリンちゃん

第10回 むつめ祭

**日時** 11月24日(木) 12:00~20:00  
11月25日(金) 10:00~20:00  
11月26日(土) 10:00~20:00  
**開催場所** 埼玉大学

皆さまのご来場をお待ちしております。(開催時間は変更となる場合があります)

埼玉大学教育学部芸術講座音楽分野教員による演奏会

今年も楽しみ!



第17回 音楽の贈りもの

**日時** 12月11日(日) 14時開演予定  
**会場** 彩の国さいたま芸術劇場音楽ホール  
入場無料 / 先着600名

埼玉大学広報誌

「Saidai Concierge」  
Vol. 23

アンケートのお願い

今後のより良い広報誌づくりのため、  
皆様のご意見をお聞かせください。



Saidai Concierge vol.23 平成28年7月発行

- 企画・編集発行 埼玉大学広報渉外室
- 企画・制作 コスモプリント株式会社
- 問い合わせ先 埼玉大学広報渉外室  
〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255  
TEL 048-858-3932 FAX 048-858-9057  
E-mail koho@gr.saitama-u.ac.jp  
URL http://www.saitama-u.ac.jp



この冊子に関するご意見やご質問は、埼玉大学広報渉外室までお寄せください。